

夜間開園時の開花状況「大温室、熱帯スイレン温室」

永井親雄・須田泰夫

2003年9月6日の夜間（19：00～22：00）での開花状況を記録する。

1 ヤコウボク *Cestrum aurantiacum*

ナス科

切戻し剪定を5月に行ったところ、2003年夏の日照不足と低温で枝の伸びが悪く、数輪程度しか開花しなかった。予備の鉢花で、夜間の香りを楽しんでもらった。なお、大温室ロビーに置いた鉢は、電灯の影響か、香りが弱かった。

2 サガリバナ *Barringtonia racemosa*

サガリバナ科

2002年の秋に切戻し剪定を行った。例年は8月の上旬に一回目の開花ピークあり、8月の下旬以降に2回目の開花ピークがあるが、2003年は夏季の低温と日照不足により、一回目の開花ピークが8月下旬からであった。当日は大半の花が終わっており、2～3花房残るだけであったが、1房の50輪ほどが一斉に、18：00過ぎから開花した。その後の開花は11月下旬までだらだらと続いた。

西表島などの事例によれば、開花は枝の伸長期の温度と日照に左右されるようで、年により開花時期は変化するようである。また、通常の高温期は1房の開花が、1日

に数輪ずつなのに対して、9月6日以降の開花は、1房の30～40輪が一斉に開花した。（写真1）

3 ゲッカビジン *Epiphllum caudatum*

サボテン科

2003年2回目の開花は、9月5日～9月7日の3日間であった。9月6日は2日目で、21：00ころより始まった。（写真2）

なお、1回目の開花は7月下旬、3回目は10月15日であった。また、10月15日の大温室に直植している株の開花は、陽が弱く、気温が低くなると体内時計が狂うのか朝9時～11時ころまで満開状態であった。

あわせて、9月6日当日午前より、鉢植えを大温室北側の電気室で暗黒処理したが、開花の促進はなかった。

4 オオオニバス類

スイレン科

ロングウッドオオオニバス（*Victoria Longwood Hybrid*）の蕾が膨らんではいたが、9月6日の開花はなかった。2晩目以降の花は、水面に沈み加減でかろうじて残っていた。

5 夜開性熱帯スイレン

スイレン科

Nymphaea ‘Maroon Beauty’

N. ‘Mrs. Emily Hutchings’

N. ‘Silver Star’

N. ‘Sir Galahad’

が順次開花しており、9月6日も18：30ころより開花を始めた。



写真1. 一斉に開花したサガリバナの花房



写真2. ゲッカビジン 10月15日 AM9：30